

キックオフ

札幌中小労連・地域労組機関紙

S G U

SAPPORO GENERAL UNION

第129号

2011年 9月1日発行

札幌市北区北6条西7丁目 北海道自治労会館 3F

TEL756-7790(代) FAX756-7792

批判的な思考力を鍛えろ!!

「平和と人権を考える集会」



身振り手振りを交えて「思考力」の重要性を参加者に訴える「森啓先生」の熱い講演の様子

8月3日、自治体政策研究所理事長の森啓先生をお招きして「平和と人権を考える」という演題での集会在札幌地域労組主催で、開催されました。演題は「平和と人権を考える」ですが、講演では主に労働組合に関連して話されました。まず「70年代には労働組合は『世の中を変えていこう』という革新的団体であった。しかし、現在の連合運動は元会長が勲一等を叙勲される団体となっている」と指摘、その上で「現在は批判的思考力が低下しているのではないか」として、その原因として「社会全体を考える理論がない」「考える立脚点となる理論の土台がない」と分析されました。森先生が特に強調されていたのが「人間の思考力を高める」という事でした。思考力を鍛えるためには「少数派であっても批判や傷付く事を恐れず一歩前に出てみる事が大事。そして思考の道具である『言葉』を使うこと」という事を、何度も参加者に訴えかけていました。最後に「批判的な思考力を鍛えて、批判的な労働組合であって欲しい」と、労働組合への激励をいただきました。終始、森先生の説得力溢れる熱い内容でした。

問題あり！ 「子ども・子育て新システム」 ～考えよう！よりよい保育の実現のために私たちができること～

8月22日、北海学園大学川村雅則准教授を講師にお迎えし、地域労組主催で保育集会を開催しました。

今回の集会は、川村先生が実施した道内の保育現場のアンケート調査結果を交え新たな保育制度（案）についての問題点をわかりやすく解説して頂きました。

まず、なぜいま新システムなのか。「社会保障と税の一体改革」等、政治・経済の文脈を理解する必要があると指摘されました。そもそも、現行制度を維持し社会保障の予算を増額するという改善案ではダメなのか？また、公的保育制度の解体と直接契約方式導入により、最も保育を必要とする子ども・親は救われるのか、「保育難民」の発生が懸念されると指摘されました。

保育料も応能負担から応益負担となり、親の負担はどう変わっていくのか。多様な事業主体の参入により保育の質の問題、労働条件の悪化など問題点は山積みであるとのこと。最後に「これは介護保険制度導入時と非常によく似ている」と話されていました。みんなで介護を支えていこうという改革案が実際には介護の現場で何が起きたのかと、指摘され「現在の介護制度を理解すると、保育がどう変わっていくのかわかる」と言及されました。

保育関係者以外の方からも多く参加され、今私たちにできることとしてこの問題を幅広く多くの人々に伝えていきたいと切に感じた講演でした。



公共事業受注者の仕事で、従業員が低賃金に苦しむ実態 ～阿部広之さんが報告～

「官製ワーキングプア」解消を目指すシンポジウムが、反貧困ネットワーク北海道の主催にて7月25日開催され、約50人の参加者は公共サービスなどに従事する非正規労働者の労働実態に関心を深めました。阿部さんは札幌市内の公立病院から業務委託を受ける企業の非正規社員、医療データ処理業務での自らの事例や問題点を報告しました。システム開発に尽力し業務効率を17%改善したが、待遇



が改善しなかったばかりか、作業効率の改善により残業時間が減り、給与が下がった経験を紹介。一般の会社社員であれば、業務改善功勞で、表彰や昇給若しくは昇格などで更に創意工夫や改善の努力に繋がるが、非正規は同じ労働者でも、逆転現象が起こり待遇が減少となりました。

集会では、この事実こそが派遣・委託・請負、雇用流動化の実態で、「生活保護費の方が高くなるような給与水準は問題が大きい」とし、自治体発注業務の受注企業に対し、適正な水準の賃金支払いを義務づける「公契約条例」を札幌市での制定に期待するとして閉会しました。

札幌地域労組執行委員・マイクロフィッシュユニオン委員長阿部広之さん

フクシマの「子供たち」を北海道に迎えて

福島第一原発の事故勃発後、政府や電力会社は放射能汚染に関する情報をキチンと開示せず、情報が二転三転しました。そして「想定外」「ただちに影響はない」と繰り返し、赤ん坊を抱える母親の母乳からヨウ素が検出され、食糧やガソリンなどが品薄になりました。

私はこの混乱と惨事を見て、これでは安心して子供を産み育てられない、と強い疑念を抱きました。

原発事故の収束が長期化する中、刻々と広がり続ける放射能汚染。

そんな中、福島から、ある一家族が札幌に自主避難してきました。これを機に福島から窮状を訴える声が相次ぐようになり、札幌の有志が「福島の子供たちを守る会」を発足させます。

活動資金はすべて寄付金であり、北海道庁からは、福島往復のバス・フェリー代のみ助成がありました。当地域労組も組合員の皆さんから頂いた義援金の一部10万円を「守る会」にカンパしました。

北海道の大自然に囲まれた26日間(7/26~8/21)の一時避難・サマーキャンプには、福島の親子44名が参加し、山・海・川で思う存分遊びました。放射能汚染という地獄からの解放で、心身共に親子が元気に過ごせたと思います。

最終日には、札幌市内で「さよならパーティー」が開催され、数多くの料理をおいしくいただきました。そして子供たちは、人気アニメ宮崎駿「となりのトトロ」「崖の上のポニョ」をピアノ伴奏にのせて熱唱し、大人たちの心を癒してくれました。

親たちからは「福島に帰りたくない」「食の安全が心配」「反原発の声を出したら、異端視される」など深刻な声を聞きました。

未来を担っていく子供たちを守らないような国に展望はあるのでしょうか。

チェルノブリ事故の例で言うと、福島は強制退去区域に該当します。政府には、被曝犠牲者に対する認識・感度の鈍さをあらためて感じます。



宮崎駿監督が率いるスタジオジブリでは、「原発ぬきで映画をつくりたい」「NO!原発」のプラカードを掲げて小さなデモを行っています。世界的に有名な人が反原発に声を上げてくれることは嬉しいことです。

泊原発3号機では、民意の反対意見を無視し強行的に再稼働させました。原発問題はまさしく人権問題です。「脱原発」では、色々な垣根を越え心をつにし、核のない平和な社会を目指していきましょう!

寄稿者 佐々木かおり (SGU書記)

震災カンパのご協力ありがとうございました!

組合員などから54万7,771円が集まり、地域労組の一般会計から2,229円を加えて、55万円としました。

組合員及び親族の被災状況報告を受けて、①東松島市の実家が全壊1件②函館市及び仙台市の実家や備品などが罹災3件の計4件について45万円を配分することとし、残額10万円を「福島の子どもたちを守る会」にカンパしました。

被災者の方々などから、感謝・お礼の言葉が寄せられておりますので、この紙面をお借りして、ご報告に替えさせていただきます。(執行部一同)

職場探訪 第6回

～元町杉の子保育園支部～

1982年12月に7名で組合を結成し、来年で30年を迎えます。

組合結成のきっかけは臨時保育士の解雇問題でした。ワンマン経営で、10年くらいの間は団交続きでしたが、新野さん(当時「札幌地域労組委員長」)や保護者の方達、保育関係の仲間、多くの方々に支えられてきました。そして何よりも29年前は若かった(笑)。支部組合員の団結の底力があって、今に至っているのだと思います。本当に辛かった時に、ある保護者の方が「今は暗闇だが、絶対に針の先ほどでも明るさが有るはず。かならず抜け出すことが出来る！」この言葉を励みに日々活動をしてきました。現在、組合員は14名で20歳



～職員会議の様子～

代～60歳代の幅広い年齢層です。支部内の交流を深める為に、ゲーム等々のレクリエーションや毎月の支部会でお題を決めたフリートークの時間を設けるなど支部の活性化を図っています。又、支部の目標として、是から未来を担っていく子ども達の為にも平和への取り組み、外部の勉強会への参加を心がけるようにしています。

【 告 知 板 】

☆イラクとフクシマをつなぐ

集会とピースウォーク

日 時 9月11日(日) 集会10時～
ピースウォーク11時30分～
場 所 北海道クリスチャンセンター
(北区北7西6)

☆非正規労働者の権利実現 全国会議・札幌集会

日 時 9月17日(土) 13時～17時
場 所 北海道大学クラーク会館講堂
(北区北8西8)

※終了後、交流会を予定(会費2,000円)

☆ソフトボール大会

日 時 9月18日(日) 9時～
場 所 リゾートサッポロ・グラウンド

☆さよなら原発北海道集会

日 時 9月18日(日) 10時～
場 所 札幌芸術文化の館(旧厚生年金会館)
[デモ行進: 11時に大通公園西12丁目集合]

☆労働者の権利講座

日 時 10月4日(火) 18時30分～
場 所 自治労会館
講 師 川村俊紀 弁護士

☆ユーカラ部会 第7回例会

日 時 10月14日(金) 18時30分～
場 所 自治労会館書記局
60歳前後の組合員の参加を！！

【編集後記】

今年の北海道最低賃金は14円引上げて時給705円で決定し10月6日から施行しますが、まだまだ生活保護基準額より下回っており、抜本的引上げのために、更なる闘いを広げていこう！

脱原発！反原発は、いまや国民的運動に広がっています。

ところで北電のやらせ問題が発覚。このことで北電労組の談話が新聞にのっていましたが、「社員も道民の1人なのでプルサーマル計画に賛成意見を出しても、かまわないのだ。」と開き直り。それこそ道民を馬鹿にしたものであり、あぜんとするばかり。(しん)